



大田区議会議員(3期目) 大田区へ政策提言

近況報告

区議会議員選挙にて改選がなされ2ヶ月が経過しました。この2ヶ月の間に改選後に初召集がかかる大田区議会臨時会(5/22～5/29)、そして第2回定例会(6/3～6/22)が行われました。

臨時会では選挙にて改選され、議会の構成メンバーが変わりましたので議会の役職(議長・副議長・監査・選挙管理委員・議会運営・常任・特別 各委員など)を決定し議会運営を行える環境を整えます。そこで私は、

常任委員会 こども文教委員会
特別委員会 防災・安全対策委員会 に所属する事となりました。

ゆもと良太郎 プロフィール

39歳2児の父

昭和51年5月10日

大田区大森生まれ(A型)。大森幼稚園・大森第五小・日大三中・日大三高を経て明治大学商学部貿易コース卒。大学在学中より都議会議員秘書となる

平成15年4月

大田区議会議員選挙に自由民主党公認若干26歳で初出馬。初当選(5536票)。66候補者中3位。新人1位

平成19年4月

大田区議会議員選挙にて、2期目の当選(5419票)

平成22年6月

自由民主党離党

平成27年4月

大田区議会議員選挙において3期目の当選(5523票)。65候補者中7位。完全無所属ではただ一人の当選者。

大田区議会議員 ゆもと良太郎事務所

〒143-0011 東京都大田区大森本町2-31-10

TEL.03-3765-1464 FAX.03-3765-1482

<http://www.yumoryo-otacity.jp> info@yumoryo-otacity.jp

活動報告

大田区議会 第1回臨時会開会中に行われました連合審査会にて質問に立ちました。

内容は

★ 防犯カメラ設置推進について

★ 内川の水質浄化について

です。質問時間は10分、他にも取り組みたい課題はたくさんありますが今回の補正予算案として上がってきた案件に係る事柄を取り上げ質問いたしました。

・防犯カメラ設置推進については選挙公約にも掲げて参りました。みんなが安心して生活できる大田区を実現するために様々な取り組みを行なっておりますが、その中でも最近の区民ニーズが高まっているのが防犯カメラを活用した治安対策です。

大田区としても区民ニーズを把握して大田区未来プラン10年後期には街頭防犯カメラの整備数を**平成25年13地区190台→平成30年30地区600台**へと目標設定をしております。

では大田区としてカメラ設置を進める上で課題はなにか？

- ① 設置コストの高さ
- ② プライバシー保護
- ③ 施設管理する課が様々で包括的な設置が進められない

大きく分けるとこの3つが課題のようです。特に注目したのは③です。解りやすく説明すると以下の表のようになります。

施設名	管理課
学校	教育総務課
公園	都市基盤整備課
区道	防災課
保育園・児童館	子育て支援課

いわゆる縦割り行政の障害ですが、パーフェクトな組織編成はありませんので仕方ありません。防犯カメラ設置推進を図る為には役所の体制を整えなければなりませんのでまずこの問題を質問しました。

Q 防犯カメラの設置を行う上で、大田区として担当課を一つに絞り、効果的に施策の推進を可能にできる様に体制を整える必要性をどのように考えているのか？

A 設置場所は複数部局にまたがる為、効果的な配置や撮影範囲が重複しないよう、防災課にて調整しながらすすめていく。

この答弁にあたって大田区の庁内で調整がなされたのであらうと思いますがこれでようやく大田区の体制が整いました。

課題①にも係わりますが設置コストは高額ですから効率的、効果的にカメラの設置を進めていかなければなりません。課題②の問題は防犯カメラの設置に反対をされる方もおります。理由は個人の行動を行政が監視する社会はいかがなものか…といった主旨です。

行政がこのシステムを監視社会の強化に活用しようと考えた時のリスクは以前の日本で権力の暴走が起りましたので全く理解できない訳ではありません。ですが現行のシステムは監視モニターがついておらず、事件の発生した際の状況把握に活用される事と、犯罪に対する抑止がその主眼であります。

他区の状況を調べてみると杉並区・荒川区では設置に明確な目的と基準を設けるために条例を制定しています。特定の『誰か』にとってのみ都合の良い仕組みにならない様に大田区でも条例制定を目指して参ります。

※内川の水質浄化については紙面が足りませんのでHPに活動報告としてUPしますので是非ご覧ください。